宮沢賢治全集

中原中也

宮沢賢治全集第一回配本が出た。死んだ宮沢は、 自分が死ねば

果して予測してゐたであらうか。

全集が出ると、

私にはこれら彼の作品が、大正十三年頃、 つまり「春と修羅」

が 出た頃に認められなかつたといふことは、 むしろ不思議である。

年の初めであつたか、とまれ寒い頃であつた。由来この書は私の

私がこの本を初めて知つたのは大正十四年の暮であつたかその翌

愛読書となつた。 何冊か買つて、 友人の所へ持つて行つたのであ

あらうか。彼が東京に住んでゐなかつたためであらうか。 彼が認められること余りに遅かつたのは、 広告不充分のためで 詩人と

宮沢賢治全集 せの故でもあらう。要するに不思議な運命のそれ自体単純にして、 せに因つてであらうか。多分その何れかであり又、 壇交游がなかつたためであらうか。それともそれ等の事情 して以外に、 職業、つまり教職にあつたためであらうか。 何れかっ 所謂文 0) 0)

取合

取合

ことである。 つたことは、 認められること余まりに遅かつたためには、 宮沢賢治は死後間もなく認めらるるに至つたといふ もつと作品の実質

それを織成す無限に複雑な因子の離合の間に、今や我々に既に分

恐らくそれは間違つてゐる。 それ程難解なものとは思へぬ。 に関係ある、 謂はば有機的理由ありとする人々があるであらうが、 是等の作品が、一般に愛されるべく のみならず、 此処には、 我が民謡

る。 感性は、 人達のためには、十分哲学的学術的な言葉も此処には見出される てしなければ、かの「意味がない」と云つて嘯く、平盤な心情の い冗舌は、 んだ色になるとしてのことである。それに猶、 てのことのやうであり、此処では、紅の花も、やがて萎れて黝ず の空色であり、彼自身の讃ふべき語を以てすれば、「鋼青」であ て来た、 人には最も直ちに、感じられる底のものである。 此処に見られる の精神は実になみ~~としてゐて、これは、詩書を手にする程の 真昼の光はあつても少しくであり、それもやがて暮れるとし 古来「寒月」だの「寒鴉」だの「峯上の松」だのと云つ 純粋に我々のものである。 此処に十分に按配されてをり、直き直きに抽象語を以 主調色は青であり、 諸君も嫌ひではな あけぼの

のである。

宮沢賢治全集 あることは既に明らかだが、つまり、 む程の性格の明確性は、存外に稀だといふことであるが、 般が、 あの 「お揃ひ」を喜ぶ程度には甘く、 自分だけ愉しめるものを愉 浮誇なる

もの

又偶

殊に 「春と修羅」如き地方で印刷されたものの場合尚更さうなの 従つて誰かが書の価値を公表しない限り、 書は弘まらず、

々性格が明確だと見えるや、それは只独善的である場合は多いの

は、 けれど、 私自身が無名でさへなかつたならば、 実以て不思議であり、「運命の悪戯」でしかないのである。 誰一人として今迄その今謂ふ公表をしなかつたといふこと 私が話をした知名の人達はどう迂つ闊りとしてゐたもの 何とかしたでもあつたらう

私の力説が足りなかつたのか。詩といへば、余りに贋物を掴

まされすぎた経験からといふのでもあるか。

は、 術の神であり、他の一つは料理屋女将の神ともいふべき神である。 登場する凡ゆる場合、其処には二つの神があつて、その一つは芸 たづらである。だが一度び俯瞰すれば、 我が現状の裡に身を置いて考へる限り、これは正しく運命のい といふことではあるまいか。 手段として以外に眺められたことはない。 私は今、 未だ我が国に於て、 此の全集の刊行に際し 従つて芸術の 芸術 話の

を云ふべきであつたとは思つてゐるが、十年来の愛読書が、今急 かつたことなぞ構ふことなく、もつと宮沢の作品そのもののこと つまりもう今は宮沢も知られたのであるから、その余りに遅

8

に世の光を浴びては、偶々入浴して脳貧血を起すがやうなもので、

宮沢賢治全集

まる事なのである。

かくは愚痴つぽいとも見える文章を草することが、差当り気の休

(一九三四、一一、一九)

青空文庫情報

底本:「新編中原中也全集 第四巻 評論 ・小説」角川書店

底本の親本:「宮沢賢治研究 第一号」

2003(平成15)年11月25日初版発行

初出:「宮沢賢治研究 1935(昭和10)年4月20日発行 第一号」

1935(昭和10)年4月20日発行

※ 内の編者によるルビは省略しました。

入力:村松洋

校正:noriko saito

9

2014年9月11日作成

宮沢賢治全集 青空文庫作成ファイル:

w.aozora.gr.jp/)で作られました。入力、校正、制作にあたった

のは、ボランティアの皆さんです。

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫(http://ww

宮沢賢治全集

中原中也

2020年 7月13日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL http://www.aozora.gr.jp/

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL http://aozora.xisang.top/

BiliBili https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks 青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/ ※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。 http://tokimi.sylphid.jp/